

福岡県民の買い物 博多駅周辺より天神 民間調査、20歳代は特に

民間調査会社のジーコム（福岡市）が福岡県民の買い物物の動向について調べたところ、JR博多駅（同）周辺地区よりも同市の天神地区に買い物に訪れる頻度が高いことが分かった。特に20歳代で天神を訪問する傾向が強かった。天神には若者向けの衣料店が多いことが背景にあるとみられる。

全体で見ると、1年間で天神を訪問する回数は

平均22・3回と、博多駅周辺（15・8回）を上回った。特に20歳代では、天神を訪れる回数は年間32・0回と博多駅周辺（23・7回）より多かった。

50歳代以上では、買い物の際には両地区より郊外のショッピングセンター（SC）を利用する回数が多いことも分かった。特に60歳代での郊外型SCの利用回数は22・3回と、天神（14・4回）や博多駅周辺（8・1回）を上回った。

調査は5月下旬、インターネットを通じて実施。20歳以上の県民700人から回答を得た。